

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限（2018年9月4日設定）	
運用方針	円建ての外国投資信託であるグローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）の投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券および不動産投資信託証券に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。円建ての外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、投資する外国投資信託において外貨建資産に対して為替ヘッジを行い、国内資産の代替とすることがあります。	
主要運用対象	わたしの未来設計<成長重視型>（分配抑制コース）	グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）	日本を含む世界各国の株式、債券およびリートを投資対象とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。
	マネー・マーケット・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	投資信託証券への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への直接投資は行いません。	
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）	

運用報告書（全体版）

わたしの未来設計<成長重視型>
（分配抑制コース）



第16期（決算日：2026年7月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先	
お客さま専用 フリーダイヤル	0120-151034 （受付時間：営業日の9:00～17:00、 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。	

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 期 騰 落 中 率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
12期(2024年7月16日)	14,001		0	10.4	—	—	98.4	3,901
13期(2025年1月15日)	13,726		0	△ 2.0	—	—	98.4	4,239
14期(2025年7月15日)	14,010		0	2.1	—	—	98.9	4,607
15期(2026年1月15日)	15,565		0	11.1	—	—	98.4	5,220
16期(2026年7月15日)	16,173		0	3.9	—	—	98.4	5,573

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率			
(期 首) 2026年1月15日	円 15,565		% —	% —	% —	% 98.4
1 月 末	15,239	△ 2.1		—	—	98.5
2 月 末	15,850	1.8		—	—	98.2
3 月 末	15,110	△ 2.9		—	—	98.4
4 月 末	15,675	0.7		—	—	98.1
5 月 末	15,857	1.9		—	—	98.3
6 月 末	16,017	2.9		—	—	98.3
(期 末) 2026年7月15日	16,173		3.9	—	—	98.4

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

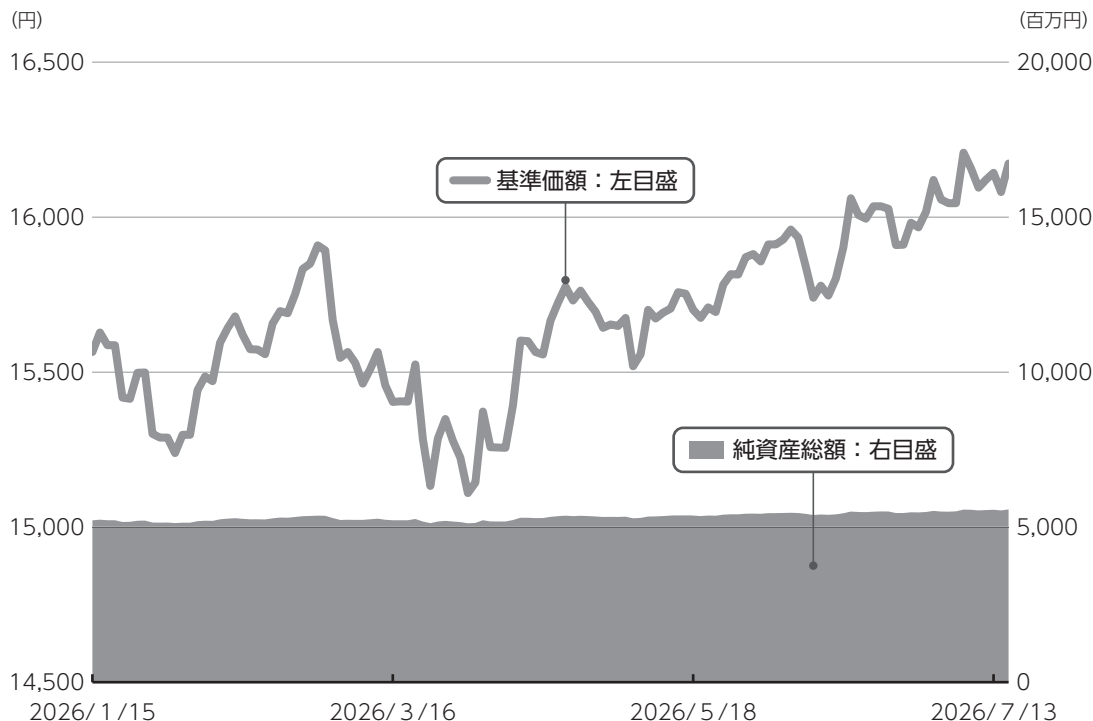
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第16期：2026年1月16日～2026年7月15日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 16 期 首	15,565円
第 16 期 末	16,173円
既払分配金	0円
騰 落 率	3.9%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ3.9%の上昇となりました。

＞ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

先進国株式の上昇などが基準価額へプラスに寄与しました。

第16期：2026年1月16日～2026年7月15日

＞投資環境について

【株式】

先進国の株式市況は、中東情勢の緊迫化を受けて下落する局面も見られましたが、人工知能（ＡＩ）関連分野への投資拡大期待を背景とした半導体関連銘柄への買いが継続したことや、中東情勢の緊張緩和などを背景に上昇しました。新興国の株式市況は、上昇しました。

【債券】

先進国の債券市況は、米景気減速懸念や地政学リスクの高まりが支援材料となった一方、インフレ懸念を背景とした金融引き締め観測などが重石となり、期間を通じては概ね横ばいとなりました。国内の債券市況は、財政拡張懸念等を背景に下落しました。新興国の債券市況は、上昇しました。

【リート】

先進国の不動産投資信託（ＲＥＩＴ）市況は、データセンター需要拡大への期待に加え、中東情勢の緩和を背景とした投資家心理の改善などが支援材料となり、上昇しました。国内ＲＥＩＴ市況は下落しました。

【為替】

為替市場では、米ドルは米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）の利下げ観測が後退したことなどを背景に、対円で上昇しました。ユーロは対円で上昇しました。

【国内短期金融市場】

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ わたしの未来設計＜成長重視型＞ （分配抑制コース）

円建ての外国投資信託であるグローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）を通じて、日本を含む世界各国の株式、債券およびリートに投資を行い、利子・配当収益の確保ならびに値上がり益の獲得をめざした運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行いました。

（ご参考）

■ 資産構成

資産	組入比率	
	2025年12月末	2026年6月末
国内株式	21.5%	24.6%
先進国株式	36.1%	35.2%
新興国株式	0.9%	1.0%
国内債券	26.4%	27.6%
先進国債券	4.5%	3.8%
新興国債券	1.1%	0.2%
国内リート	7.9%	5.9%
先進国リート	0.2%	0.5%

- ・ グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）に関する資料（評価対象日基準：当ファンドへの実質的な反映日）を基に作成しています。
- ・ 比率は投資先ファンドの純資産総額に対する割合です。
- ・ 資産構成の「国内債券」には、為替ヘッジを行った「先進国債券」を含みます。

▶ グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）

主として「国内株式」、「国内債券」、「国内リート」、「先進国株式」、「先進国債券」、「先進国リート」、「新興国株式」、「新興国債券」の8資産（以下「8資産」ということがあります。）に分散投資を行いました。なお、「国内債券」には、為替ヘッジを行った「先進国債券」を含みます。

最適と判断する基本資産配分比率に基づき、運用を行いました。また、基準価額の大幅な下落を抑えることをめざしました。基本資産配分比率の決定は、原則として年4回行い、定量・定性の評価等を勘案し、8資産についてそれぞれの期待リターンとリスクを推計したうえで、目標リスク水準（年率標準偏差10%）において最も期待リターンが高くなると期待される8資産の組合せとして決定しました。

三菱ＵＦＪモルガン・スタンレー証券株式会社 投資顧問部からのアドバイスを受けた、三菱ＵＦＪアセット・マネジメント（ＵＫ）が運用を行いました。

2026年2月および5月に基本資産配分比率の見直しを行いました。基本資産比率の見直しの結果、期間を通じて国内債券などの組入比率を増やしました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド コール・ローン等短期金融商品を活用し、 利子等収益の確保をめざした運用を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

＞ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第16期 2026年1月16日～2026年7月15日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	6,874

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ わたしの未来設計＜成長重視型＞ （分配抑制コース）

引き続き、円建ての外国投資信託であるグローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）に投資を行います。また、マネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。

▶ グローバル・ダイバーシファイド・ ファンド（モデレート）

引き続き、適切な基本資産配分比率の管理を通じて、目標リスク水準（年率標準偏差10%）を目指した運用を行う方針です。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2026年1月16日～2026年7月15日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a)信 託 報 酬	56	0.357	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.120)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(35)	(0.224)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.014)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	56	0.358	

期中の平均基準価額は、15,676円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

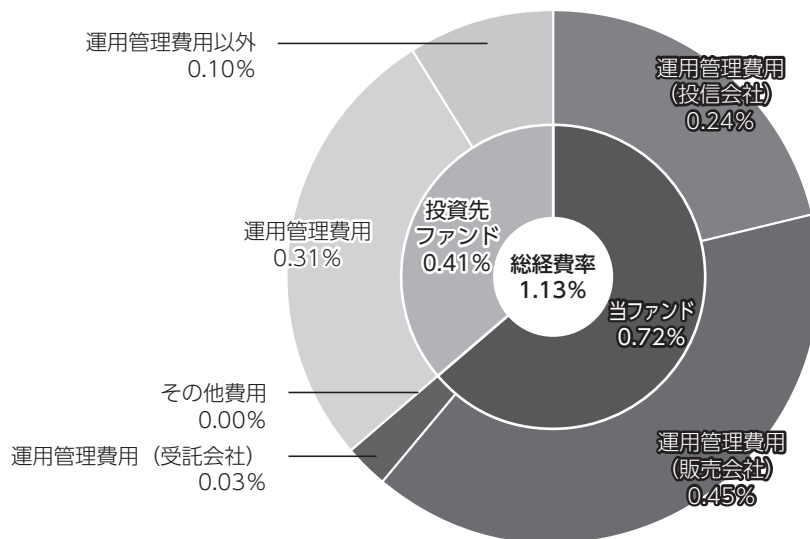
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.13%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.13
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.72
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.31
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.10

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ②の費用は、投資先ファンドの最低報酬額が適用される場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2026年1月16日～2026年7月15日)

投資信託証券

銘	柄	買		付	
		口数	金額	口数	金額
国内	グローバル・ダイバーシファイド・ファンド (モデレート)	千口 31	千円 320,486	千口 —	千円 —

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2026年1月16日～2026年7月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年7月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	グローバル・ダイバーシファイド・ファンド (モデレート)	498	529	5,484,165	98.4
	合 計	498	529	5,484,165	98.4

(注) 比率はわたしの未来設計＜成長重視型＞（分配抑制コース）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末
		口数	口数 評価額
		千口	千口 千円
	マネー・マーケット・マザーファンド	9	9 10

○投資信託財産の構成

(2026年7月15日現在)

項 目	当 期 末
	評価額 比率
投資信託受益証券	千円 % 5,484,165 98.1
マネー・マーケット・マザーファンド	10 0.0
コール・ローン等、その他	108,036 1.9
投資信託財産総額	5,592,211 100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年7月15日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,592,211,729
コール・ローン等	108,033,376
投資信託受益証券(評価額)	5,484,165,396
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	10,097
未収利息	2,860
(B) 負債	19,114,821
未払信託報酬	19,039,308
その他未払費用	75,513
(C) 純資産総額(A－B)	5,573,096,908
元本	3,445,856,444
次期繰越損益金	2,127,240,464
(D) 受益権総口数	3,445,856,444口
1万口当たり基準価額(C／D)	16,173円

＜注記事項＞

- ①期首元本額 3,354,382,538円
 期中追加設定元本額 176,650,494円
 期中一部解約元本額 85,176,588円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.6173円です。

○損益の状況（2026年1月16日～2026年7月15日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	199,285,244
受取配当金	198,893,107
受取利息	392,137
(B) 有価証券売買損益	27,798,216
売買益	28,203,207
売買損	△ 404,991
(C) 信託報酬等	△ 19,114,821
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	207,968,639
(E) 前期繰越損益金	1,196,541,976
(F) 追加信託差損益金	722,729,849
(配当等相当額)	(964,417,937)
(売買損益相当額)	(△ 241,688,088)
(G) 計(D＋E＋F)	2,127,240,464
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	2,127,240,464
追加信託差損益金	722,729,849
(配当等相当額)	(964,417,937)
(売買損益相当額)	(△ 241,688,088)
分配準備積立金	1,404,510,615

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2026年1月16日～ 2026年7月15日
費用控除後の配当等収益額	182,510,095円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	25,458,544円
収益調整金額	964,417,937円
分配準備積立金額	1,196,541,976円
当ファンドの分配対象収益額	2,368,928,552円
1万口当たり収益分配対象額	6,874円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱ＵＦＪアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)

＜参考＞投資する投資信託証券およびその概要

ファンド名	グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）
運用方針	・ 上場投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券およびリートに投資を行い、利子・配当収益の確保ならびに値上がり益の獲得をめざして運用を行います。 ・ 目標リスク水準は年率標準偏差10%とし、目標リスクあたりの期待リターンが最も高くなると想定される組み合わせになるよう資産配分比率を決定します。 ・ 市場環境の急変時と判断した場合には、比較的风险の低い資産への投資比率を一時的に高める運用を行います。 ・ 円建て以外の債券に対して為替ヘッジを行い、円建債券の代替とする場合があります。
主要運用対象	日本を含む世界各国の株式、債券およびリートを投資対象とする上場投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	・ 投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 ・ 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
決算日	毎年9月30日
分配方針	原則として隔月分配を行う方針です。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はGLOBAL DIVERSIFIED FUND (MODERATE) (A SUB-FUND OF CAYMAN FD TRUST)AUDITED FINANCIAL STATEMENTS FOR THE YEAR ENDED SEPTEMBER 30, 2025版から抜粋して作成しています。

(1) 運用計算書

グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデレート）
（2025年9月30日に終了する期間）

	グローバル・ ダイバーシファイド・ ファンド（モデレート）
	円
投資収入：	
受取配当金（源泉徴収税控除後）	101,357,978
受取利息	2,229,149
その他収益	2,012
投資収入合計	103,589,139
費用：	
管理者・受託者報酬	9,293,438
監査報酬	2,700,807
保管費用	3,763,049
運用受託報酬	17,227,220
その他費用	2,059,543
費用合計	35,044,057
投資純利益（損失）	68,545,082
実現利益（損失）及び未実現評価益（評価損）の変動：	
実現利益（損失）：	
証券投資	353,762,063
外国為替取引	2,357,469
未実現純評価益（評価損）の純変動：	
証券投資	306,528,256
外国為替取引	1,946,730
投資、外国為替取引による純利益（損失）	664,594,518
運用による純資産の純増加（減少）額	733,139,600

（注）現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(2) 純資産変動計算書

グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデルート）

(2025年9月30日に終了する期間)

グローバル・
ダイバーシファイド・
ファンド（モデルート）

円

運用による純資産の純増加（減少）額：	
投資純利益（損失）	68,545,082
投資、外国為替取引による実現純利益（損失）	356,119,532
投資、外国為替取引による未実現評価益（評価損）の純変動	308,474,986
運用による純資産の純増加（減少）額	733,139,600
純増減額	
追加設定	1,542,768,595
一部解約	(263,000,000)
分配	(604,768,595)
純資産の純増減額	675,000,000
純資産の増減額	1,408,139,600
期首	7,576,945,297
期末	8,985,084,897

(注) 現時点で入手し得る直近の決算期分を掲載しています。

(3) 投資有価証券明細表

グローバル・ダイバーシファイド・ファンド（モデルート）

(2025年9月30日現在)

資産	数量	コスト (円)	公正価値 (円)	純資産対比 (%)
Investments in securities, at fair value				
Exchange Traded Funds				
IRELAND				
ISH EDG MSCI WLD MNVL USD A	72,300	547,041,060	782,136,068	8.70%
ISHARES CORE EM IMI ACC	6,100	23,365,878	38,908,942	0.43%
ISHARES CORE EURO GOVT BOND	7,680	133,692,525	146,984,545	1.64%
ISHARES CORE UK GILTS	19,547	37,508,608	38,300,011	0.43%
ISHARES EDGE MSCI EM MIN VOL	6,200	22,873,474	34,629,770	0.39%
ISHARES JPM USD EM BND USD A	154,500	112,002,554	143,794,829	1.60%
ISHR EDGE MSCI WRLD QLY FCTR	68,800	503,910,190	780,953,554	8.69%
SPDR BBG US TREASURY	15,500	218,479,407	224,539,536	2.50%
TOTAL IRELAND		1,598,873,696	2,190,247,255	24.38%
JAPAN				
ISHARES MSCI JPN MIN VOLT	333,373	684,780,795	935,444,638	10.41%
MAXIS J-REIT ETF ¹	266,600	483,108,587	526,001,800	5.85%
MAXIS TOPIX ETF ¹	293,246	656,095,887	960,380,650	10.69%
NF JAPAN BOND ETF	3,005,400	2,734,559,544	2,581,638,600	28.73%
TOTAL JAPAN		4,558,544,813	5,003,465,688	55.68%
UNITED STATES OF AMERICA				
ISHARES CORE US REIT ETF	5,300	34,602,777	45,961,935	0.51%
ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	78,500	1,016,978,992	1,564,779,929	17.42%
TOTAL UNITED STATES OF AMERICA		1,051,581,769	1,610,741,864	17.93%
Total Exchange Traded Funds		7,209,000,278	8,804,454,807	97.99%
Total Investments in securities, at fair value		7,209,000,278	8,804,454,807	97.99%

¹ Related party of the Trustee, Administrator and Custodian

マネー・マーケット・マザーファンド

《第43期》決算日2026年5月20日

[計算期間：2025年11月21日～2026年5月20日]

「マネー・マーケット・マザーファンド」は、5月20日に第43期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第43期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。なお、市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主 要 運 用 対 象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率					
39期(2024年5月20日)	円	%		%			百万円
	10,181	0.0		—		—	4,054
40期(2024年11月20日)	10,189	0.1		—		—	5,470
41期(2025年5月20日)	10,211	0.2		—		—	40,477
42期(2025年11月20日)	10,235	0.2		—		—	8,389
43期(2026年5月20日)	10,269	0.3		—		—	10,546

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落 率				
(期 首)	円	%		%		%
2025年11月20日	10,235	—		—		—
11月末	10,236	0.0		—		—
12月末	10,240	0.0		—		—
2026年1月末	10,247	0.1		—		—
2月末	10,252	0.2		—		—
3月末	10,259	0.2		—		—
4月末	10,265	0.3		—		—
(期 末)						
2026年5月20日	10,269	0.3		—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

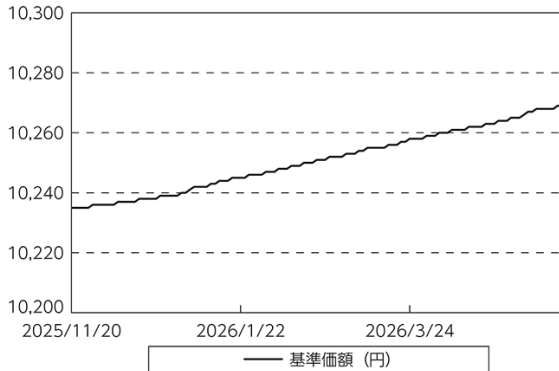
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.3%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

・無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

・コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

・日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

その他有価証券

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	コマーシャル・ペーパー	892, 287, 840	890, 419, 039

(注) 金額は受渡代金。

○ 利害関係人との取引状況等

(2025年11月21日～2026年 5 月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 組入資産の明細

(2026年 5 月20日現在)

国内その他有価証券

区 分	当 期	末
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 8, 593, 822	% 81. 5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○ 投資信託財産の構成

(2026年 5 月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 8, 593, 822	% 81. 5
コール・ローン等、その他	1, 952, 852	18. 5
投資信託財産総額	10, 546, 674	100. 0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年5月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,546,674,739
コール・ローン等	1,952,813,562
その他有価証券(評価額)	8,593,822,921
未収利息	38,256
(B) 負債	7,189
未払解約金	7,189
(C) 純資産総額(A－B)	10,546,667,550
元本	10,269,921,425
次期繰越損益金	276,746,125
(D) 受益権総口数	10,269,921,425口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,269円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,197,454,361円
期中追加設定元本額 2,644,915,164円
期中一部解約元本額 572,448,100円
また、1口当たり純資産額は、期末1.0269円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2030(確定拠出年金)	4,196,513,617円
三菱UFJ DC金利連動アロケーション型バランスファンド	2,738,934,080円
マネーボールファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	2,088,303,015円
三菱UFJ ターゲット・イヤー・ファンド2035(確定拠出年金)	1,170,969,295円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	22,181,476円
三菱UFJ ターゲット・イヤーファンド 2030	21,430,379円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンドA>	18,454,184円
三菱UFJ 欧州ハイイールド債券ファンド ユーロ円プレミアム(毎月分配型)	4,850,169円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	4,289,171円
欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	1,626,386円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<マネーボールファンド>	1,326,531円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(毎月決算型)	98,223円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジあり>(年1回決算型)	98,222円
米国バンクローン・オープン<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	98,222円
テンブルトン新興国小型株ファンド	49,097円
三菱UFJ インド債券オープン(毎月決算型)	39,351円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(毎月決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替ヘッジなし>(年1回決算型)	9,829円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(年1回決算型)	9,829円
ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド(予想分配金提示型)	9,822円
ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド(予想分配金提示型)	9,822円
<DC>ベイリー・ギフォード ESG世界株ファンド	9,822円
バリュー・ボンド・ファンド<為替リスク軽減型>(毎月決算型)	9,822円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<アジアバスケット通貨コース>(毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ /ピムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型>(毎月決算型)	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり>(毎月分配型)	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし>(毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム>(毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 米ドル円プレミアム(毎月分配型)	9,821円

○損益の状況 (2025年11月21日～2026年5月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	32,944,745
受取利息	32,944,745
(B) 当期損益金(A)	32,944,745
(C) 前期繰越損益金	192,272,044
(D) 追加信託差損益金	66,154,865
(E) 解約差損益金	△ 14,625,529
(F) 計(B＋C＋D＋E)	276,746,125
次期繰越損益金(F)	276,746,125

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<DC>ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,821円
ビムコ・グローバル・ハイイールド・ファンド (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Bコース (為替ヘッジあり)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (毎月分配型)	9,821円
ペイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールド米ドルインカムファンド (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<豪ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO ニューワールドインカムファンド<メキシコペソコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<メキシコペソコース> (毎月分配型)	9,821円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジなし> (資産成長型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (毎月決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<限定為替ヘッジあり> (年2回決算型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (年2回決算型)	9,821円
ペイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	9,821円
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<円インカム> (年2回分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (毎月分配型)	9,821円
ビムコ・エマージング・ボンド・オープン Aコース (為替ヘッジなし)	9,821円
PIMCO ニューワールド円インカムファンド (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ 米国バンクローンファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)	9,821円
三菱UFJ /ビムコ トータル・リターン・ファンド<米ドルヘッジ型> (年1回決算型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<世界通貨分散コース> (年2回分配型)	9,821円
ビムコ・インカム・ストラテジー・ファンド<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	9,821円
三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)	9,821円
PIMCO インカム戦略ファンド<米ドルインカム> (年2回分配型)	9,821円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配抑制コース)	9,820円
わたしの未来設計<成長重視型> (分配コース)	9,820円
わたしの未来設計<安定重視型> (分配抑制コース)	9,820円
米国バンクローンファンド<為替ヘッジあり> (資産成長型)	9,820円
マクロ・トータル・リターン・ファンド	9,820円
グローバル・インカム・フルコース (為替リスク軽減型)	983円
グローバル・インカム・フルコース (為替ヘッジなし)	983円
合計	10,269,921,425円

【お 知 ら せ】

投資信託約款に記載された「一般社団法人投資信託協会」を、「一般社団法人資産運用業協会」に記載変更を行いました。

一般社団法人資産運用業協会設立準備法人を吸収合併存続法人、一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会を吸収合併消滅法人として2026年4月1日付で合併し、「一般社団法人資産運用業協会」に名称を変更することとなったため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(2026年4月1日)